

一般社団法人建設技能人材機構（JAC）では、2023年度より日本人従業員向け「外国人共生講座」を開催。2023年度は、東南アジア6カ国の文化や習慣を紹介、2024年度は「やさしい日本語講座」を実施しました。今年度は、全6回にわたり様々な切り口から「外国人共生」への理解と実践を深められる講座を開催します。お申込みは、JACウェブサイトより▶▶▶ <https://jac-skill.or.jp/coexist-course/>

開催日時	テーマ	内容
5月15日（木） 14～15時	異文化理解講座（1）	異文化理解のポイントと、現場ですぐに実践できるコツを紹介！
6月19日（木） 14～15時	異文化理解講座（2） ～イスラム編～	職場等で特に配慮が求められるイスラム文化に焦点を当てます
8月21日（木） 14～15時	やさしい日本語講座（1）	前年度セミナーで頂いたご意見をもとに、発展版でお届けします
9月11日（木） 14～15時	やさしい日本語講座（2）	前年度セミナーで頂いたご意見をもとに、発展版でお届けします
10月16日（木） 14～15時	やさしい日本語講座（3）	前年度セミナーで頂いたご意見をもとに、発展版でお届けします
12月11日（木） 14～15時	生活 / 交通指導講座	外国人への生活・交通指導のポイントと、実践のコツを紹介！



外国人共生講座 異文化理解（1）

株式会社ORJ

大阪府大阪市北区芝田1丁目14番8号 梅田北プレイス2F

TEL : 06-6292-7540 FAX : 06-6292-7545

www.orj.co.jp

1. 異文化を理解する

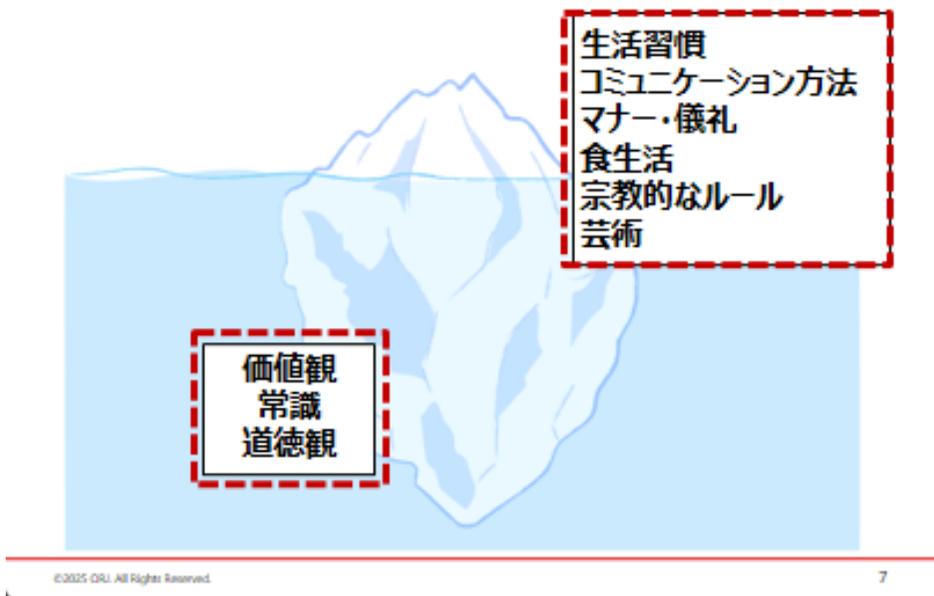
2. 文化の違い

3. 事例紹介① 現場での取り組み

4. 事例紹介② バランスの取れた職場作りのためのヒント

5. コミュニケーションタイム

1. 異文化を理解する



- 文化には目に見える部分と見えない部分がある
- 見えない部分には理由がある
- 見えない部分を知ろうとすることが異文化理解の第一歩

- 身体的な習慣（舌打ち、貧乏ゆすり、ボディタッチ、ジェスチャー、距離感）
- 不浄とされるもの・神聖なもの
- リアクション（表情や相槌など）
- 食事の嗜好や習慣
- 香水などにおいの嗜好
- プライベートと仕事の切り分け（休みの取り方、お金の貸し借り、飲み会など）
- 面子、プライド

2. 外国だとNGな日本文化

冗談でも同僚の頭を叩くのは良くないです。

左手で握手したり物を渡さないでください。

汚い言葉を使うこと。

「お前」と言わないでほしい。

ラーメンをすする音。インドネシアでは失礼です。

人前で鼻をかむこと。

 フィリピン	 メキシコ
目を見て話すのが「ちゃんと話を聞いている」サイン 目をそらされると無関心なのかなと思ってしまう	人と会ったら目を見て笑顔で挨拶を交わしたり、元気？と声をかけるのが礼儀。 黙って通りすぎると冷たく感じる。

2. 日本ではNG、外国ではOKなこと

時間を守らないこと。

みんなで集まって大騒ぎすること。大きな声で話すこと。

たとえネガティブな意見でも、正直にはっきり言うことが正しいとされています。そうしないと、自分の本音を隠しているように見られて、「信用できない人だ」と思われることもあります。

何があっても、これくらい大丈夫だと思うこと。

注意された際に笑ったりニヤニヤすること。インドネシアではよくありがちです。重い雰囲気打ち消すため。

- お互いがお互いの文化の知識を持つことでトラブル防止に繋がる
- 頭ごなしに注意せず、文化の違いを考慮した言い方をする

①ステレオタイプ化

私の母国の人には明るくて、勤勉で、人とのつながりを大切にする人たちだと思います。

でも、〇〇人は時間をまもらないよね、とか、真面目じゃないと**決めつけられると**、いやな気持ちになります。

〇〇人は明るくて元気だよね！とよく言われますが、いつもそうじゃないし、落ち込むときだってある。そう決めつけられると、**自分の気持ちをちゃんと見てもらえていない感じがして**ちょっとイヤだなって思う。

②共感力

③相互尊重

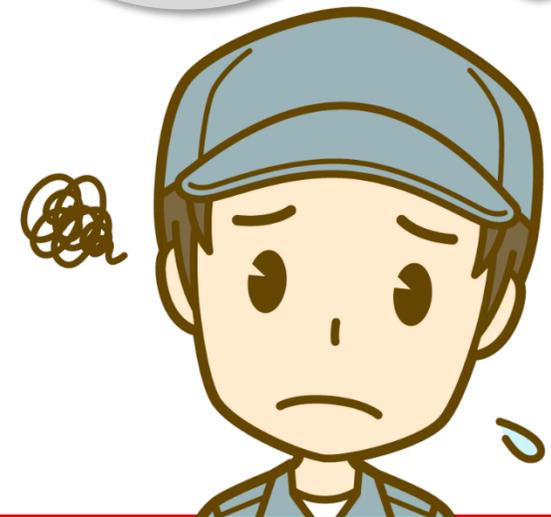
④寛容さ

言葉の概念も丁寧に教えること

日本で仕事をするにあたり、
大変なことは？

- 1 自分の意見がはっきり言えない
- 2 空気を読むこと
- 3 細かい注意や指示が多い
- 4 報・連・相が多い
- 5 理由が言えない

いつ、だれに、
なにを？



納得しないと行動に移さない。

日本人は細かいところにこだわる。母国では「そこまで気にしなくていい」ということもある。

細かい点やつまらないルールに重点が置かれていることが多い。

ルールを守ることの大切さを説明しても、「日本人はやっていない！」と反発されることがある。

理由は丁寧に伝える
言葉ではっきり伝える

理由を徹底的に説明する。（同僚、自分、お客様へのメリット・デメリットも）

習慣が付くまで丁寧に説明したり、繰り返し注意する。

人格否定はしない。

いいお手本を見せるようにしている。

ルールを守ったら評価し、定着につなげる。

会社員としての責任感も伝える。
（具体例を伝える）

分かっていないのに「分かった」と言うのはなぜ？

何度も同じことを聞くと会社に迷惑がかかると思った

本当に質問が無かった/分かったと思っていた

分からないと言うと怒られると思ったから

分からないところが分かっていないから

はずかしいから

説明を早く終わらせてほしいから

日本語の問題 質問のしかたが分からない/繰り返し言われたところで日本語が分からない

聞いたときの**メリット**、聞かないときの**デメリット**を説明する。

リピートしてもらおう。

やさしい日本語で説明する。

間違いを見つけたらすぐに**訂正**に入る。

きちんと確認してくれたら、「確認してくれて助かる！」と**評価**して、次も同じ行動をしてくれるよう促していく。

確認してくれたことを評価する

人前で怒られるのは好きじゃありません。

すぐに怒られる。「注意」と「怒る」は違います。注意であれば、私のことを考えてくれているだけなのでありがたく聞きます。

直接言わずに裏で陰口を言われると傷つく。

勉強になるのでどんどん注意・指摘ください。

3. 注意の仕方②

感情的にならないようにしている。

相手の意見に耳を傾けるようにしている。

中立を保つために複数の関係者から意見を確認するようにしている。

同国出身の通訳者に、適切な注意の仕方を教えてもらっている。

相手を否定しないようにしている。

してくれた気持ちや行動にはお礼をしっかりと伝えるようにしている。

自分に不利益が生じない限り、解決できないことも多いと感じる。

3. いい人間関係を作るために

ほめるときはみんなの前で、指摘するときは個別に。

どうでもいい会話をして日ごろから話しやすい人だと思ってもらう。

日本語をがんばってほしい。

遠慮なく聞ける雰囲気を作ってもらえると助かります。

人と人の会話が大事、職場の雰囲気が明るくなります。

小さいことでも「ありがとう、助かった」と言われるとうれしい。

日本語の問題で難しい話ができないだけで、深い考えがある。



明るく挨拶してくれて現場の雰囲気明るくなった。

真面目に取り組んでいるいて、周りにいい刺激を与えている。

日本人の指導力がついた。

工場や地域のイベント・ボランティア活動への参加。
マナー教育を行ったところ、企業内や町内の方にも好評を得た。

キャリアアップ教育を行った。
国内で学んだのち、海外拠点で活躍している。

重要なイベントの際に1日特別休暇を設定してもらった。

- ・旧正月（ベトナム・中国）
- ・クリスマス（フィリピン）
- ・断食明けのお祭り（イスラム教）

ベトナム料理の仕出し弁当屋さんを見つけてくれた。

食堂で、豚肉が入っているメニューにラベルを表示してくれるようになった。

スポーツ大会、スポーツ観戦、カラオケ大会が楽しかった。
ジムが使えるようになったのがうれしい。

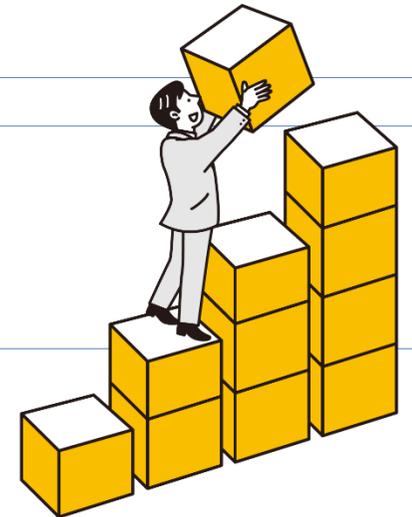
職場側への配慮

外国人の声を聞く

相談役の選任

日本語のフォロー

経験の蓄積と効率的な教育
・ 職場と外国人就労者双方へ



- 見えないところに、それぞれ異なる価値観や考え方がある
- 相手の意見を聞きつつ、自分の意見も伝える

自分の考えを伝えることは「対立」ではなく「より良い成果を生むための協力」

- 普段からいい関係を築く

